

# 世界共通語「エスペラント」の講演とコンサート

日時：6月1日（日）午後1時～3時半

入場無料

会場：イーグレひめじ3階「あいめっせホール」（姫路市本町）

## ①講演1「柳田国男とエスペラントの人びと」

講師は、大阪観光大学の橋弘文教授。民俗学の父・柳田国男は、エスペラント語を学習し、日本エスペラント学会の理事も務めました。「遠野物語」の語り部・佐々木喜善や、宮沢賢治とも、エスペラントでつながりがあったことなどを話していただきます。

## ②野田淳子ミニコンサート

野田さんは、命と平和の尊さを歌うプロのシンガーソングライター。金子みすゞの詩によるオリジナル曲や上條恒彦とのジョイントコンサートなどで知られています。京都エスペラント会の会員で、エスペラント語の歌も歌っていただきます。

## ③講演2「現代ポーランドに与えた日本文化の影響」

講師は、ポーランド出身のアレクサンドラ綿貫さん。エスペラント語が誕生したポーランドにおいて、夫の健一郎さんと共に、「はだしのゲン」等を翻訳出版された経験から、とくにマンガ文化を中心に、現代ポーランド社会における日本文化の影響を話していただきます。講演はエスペラント語ですが、日本語への通訳があります。

## エスペラント語の入門2時間講座（無料）

5月31日（日）午後1時～3時、「イーグレひめじ」4階のセミナー室D。

エスペラント語の概要を体験していただくための講座です。

これらは、第62回関西エスペラント大会（5月31日～6月1日）のプログラムの一部として、市民の皆さんに無料で開放するものです。

会場では、このほかに、ポーランドの民族人形16体の展示も見ていただけます。

主催：はりまエスペラント会、一般社団法人関西エスペラント連盟

後援：姫路市、姫路市教育委員会、（財）姫路市文化国際交流財団、（財）兵庫県国際交流協会、姫路地方文化団体連合協議会、朝日新聞姫路支局、毎日新聞姫路支局、読売新聞、神戸新聞、サンテレビジョン、ラジオ関西

★エスペラント（語）は、特定の国・民族に属さない中立の国際共通言語として、1887年にポーランドのザメンホフによって提案され、日本においても、1906年以来の100年を超える歴史があります。

★関西エスペラント大会は、1952年以来、毎年、関西エスペラント連盟が各地のエスペラントグループと協力して開催しています。今年は、はりまエスペラント会が46年ぶりに姫路で開催します。

★はりまエスペラント会は、播磨地方のエスペランチスト（エスペラント語学習・使用者）のグループとして、2003年に設立され、2007年姫路国際交流センターの登録団体に認可されました。前身は、1965年創立の姫路エスペラント会で、現在は、姫路と加古川で学習会を開催しています。

問い合わせ：671-0122 高砂市北浜町北脇 29-16 峰気付 はりまエスペラント会事務局

電話 079-254-2802, harima-@-esperanto.ne.jp